

第 92 回 医療薬学公開シンポジウム 開催報告書

第 92 回 医療薬学公開シンポジウム 実行委員長

小坂 信二

(香川大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

令和 5 年 12 月 2 日(土)高松シンボルタワー タワー棟 6 階 かがわ国際会議場(高松市)において、第 92 回医療薬学公開シンポジウム(主催:一般社団法人 日本医療薬学会、共催:香川県病院薬剤師会、一般社団法人香川県薬剤師会、後援:日本薬学会中国四国支部)を、山本康次郎会頭をお招きして開催いたしました。今回、「新しい時代の臨床薬学教育に向けて」をテーマにシンポジウムを企画し、香川県内だけでなく遠方からの参加もあり、病院薬剤師、薬局薬剤師、薬学部教員を含め 66 名のご参加をいただきました。

教育講演では、京都薬科大学 医療薬科学系 臨床薬剤疫学分野 教授 村木 優一先生に「新しい時代の臨床薬学教育を考える」についてご講演いただきました。村木先生のご講演では、医療リアルワールドデータ(RWD)と呼ばれる、治療に関する記録や医薬品の市場データなど、医療に関わるさまざまな情報が集約されたビッグデータの利活用についてご講演いただきました。

シンポジウムでは「新しい時代の臨床薬学教育に向けて」をテーマとし、薬局薬剤師、薬学部教員、病院薬剤師それぞれの立場から、新しい時代の臨床薬学教育の現状と課題についてご講演いただきました。香川県薬剤師会 薬学生実務実習受け入れ委員会の森 みさ子先生より「薬学生実務実習～薬局での取り組み～」、徳島文理大学 香川薬学部 准教授 川添 哲嗣先生より「新時代の臨床薬学教育における視点と思考の変更ポイント」、岡山大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長 座間味 義人先生より「病院薬剤部におけるDX薬学教育」についてご発表をいただきました。総合討論では、臨床薬学教育の今後の展望について活発な意見交換がなされました。教育講演およびシンポジウムを通して、病院薬剤師、薬局薬剤師に求められるこれからの薬剤師教育について考える良い機会になったと考えています。

最後に、講演をご快諾頂きました演者の先生方ならびに今回のシンポジウム開催にあたり、共催・後援いただいた香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、日本薬学会中国四国支部の関係各位、さらに企画・運営にご尽力いただいた日本医療薬学会事務局の方々をはじめ、ご協力頂きました全ての方に心より感謝申し上げます。